

## 新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制について

## 【要 旨】

本県の病床確保計画における最大病床数については、435 床確保しているところであり、7 月 22 日現在の確保病床使用率は 28.3%となっています。今後、感染状況に応じてフェーズを切り替え、病床を拡大します。

また、高齢者や障がい者等への医療提供体制を強化するため、介護が必要な高齢者や障がい者等に対応した宿泊療養施設について、8 月上旬からの運用に向け、体制整備を進めています。

## 1 現在の医療のフェーズ

新型コロナウイルス感染症に対応する病床については、最大 435 床を確保しており、7 月 22 日現在、確保病床に対する病床使用率は 28.3%となっている。

病床使用率から医療のフェーズ 2 としているが、感染拡大に伴い医療従事者の感染や救急搬送事例の増加により医療機関の負担も増加していることから、感染の状況に応じて柔軟に病床を拡大するなど、医療の必要がある患者に適切な医療を提供していく。

## 2 介護が必要な高齢者や障がい者等に対応した宿泊療養施設の開設・運用（新規）

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている医療機関においては、感染の拡大に伴いクラスターが発生した介護施設利用者など、介護が必要な軽症者の受け入れも増加していることから、医療機関の負担が増加しているところ。

医療機関の負担を軽減し、医療が必要な患者の受け入れ病床を確保するとともに高齢者や障がい者等への医療提供体制を強化するため、介護が必要な軽症者に対応した専用の宿泊療養施設を新たに開設しようとするもの。

## ○フェーズ毎の確保病床数・宿泊療養居室数

|                    | フェーズ 1<br>【発生初期】   | フェーズ 2<br>【発生拡大期】          | フェーズ 3<br>【まん延期】      |
|--------------------|--------------------|----------------------------|-----------------------|
| 確保病床※              | 201 床              | 325 床                      | 435 床                 |
| 軽症～中等症             | 169 床              | 291 床                      | 401 床                 |
| 重 症                | 32 床               | 34 床                       | 34 床                  |
| 宿泊療養居室数            | 100 室              | 280 室                      | 370 室                 |
| 病床+居室 計            | 301 床・室            | 405 床・室                    | 805 床・室               |
| フェーズ切り替<br>えのタイミング | 20%未満<br>(目安:86 床) | 概ね 20～50%<br>(目安:87～217 床) | 概ね 50%～<br>(目安:218 床) |

※病床数については、感染状況を踏まえ関係医療機関との調整により変更があるもの

## ○運用開始

令和 4 年 8 月上旬予定